



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	117,445	—	15,387	—	12,162	—	8,515	—
26年12月期第1四半期	161,613	—	20,123	—	20,649	—	14,432	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 9,671百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 11,358百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	44.86	42.38
26年12月期第1四半期	76.03	71.88

(注) 平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は3ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
27年12月期第1四半期	360,855	—	207,693	—	57.1	—
26年12月期	355,837	—	201,940	—	56.5	—

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 206,213百万円 26年12月期 201,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	23.50	23.50
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	23.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	215,000	—	20,000	—	19,000	—	13,000	—	68.48
通期	423,000	—	33,000	—	32,000	—	21,000	—	110.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、通期については、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)、決算日が12月31日の連結子会社は12ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年12月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。また、第2四半期(累計)につきましても、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、通期の対前期増減率および第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	199,962,991 株	26年12月期	199,962,991 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

27年12月期1Q	10,141,406 株	26年12月期	10,140,795 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	189,821,903 株	26年12月期1Q	189,824,662 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年5月11日(月)に当社ホームページ(<http://www.asics.com/jp/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 連結分類別売上高明細表 .....	10
(2) 地域別売上高 .....	10
(3) 在外子会社為替換算レート .....	11
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるスポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。

ランニングは、コア事業として更なる拡大を目指しました。高機能ランニングシューズ「GEL-NIMBUS 17」を市場投入しました。さらに、当社がタイトルスポンサーを務めた「アシックスLAマラソン」をはじめ、バルセロナ、ムンバイ、ソウル、東京など世界各地のマラソン大会への協賛などを行いました。

スポーツライフスタイルは、先鋭的で洗練されたブランドとしての価値向上およびブランドコンセプトに基づく戦略の実行による売上拡大に努めました。アシックス、オニツカタイガーに続く第三のブランドとして、1980年代から1990年頃に人気を集めた競技用シューズにカジュアルなアレンジを加え、「アシックスタイガー」ブランドとして復活させました。アシックスの歴史とテクノロジーをコアとした同ブランドは、ストリートファッションを好む層をターゲットとしており、市場での新たな地位の獲得を目指し、国内外の有名ショップとのコラボレーションモデルの発売等を開始しました。また、オニツカタイガーブランドでは、東京での独自のランウェイショーの開催などを行いました。

販売面では、自主管理売場の拡大を通じた売上拡大に努めました。マドリッドにアシックスブランドの旗艦店をオープンしたのをはじめ、リスボンにアシックスブランドの直営店を、また渋谷にオニツカタイガーブランドおよびアシックスタイガーブランドの直営店をオープンするなど、世界各地への出店を進めました。さらに、世界共通のITプラットフォームに基づく自社独自のEコマースサイトでの販売を、新たにオーストリアをはじめとする4カ国で開始しました。このほか、インドにおける当社製品の販売強化のため、アシックスインディアPRIVATE LIMITEDを販売会社としてスタートさせました。

アパレル事業では、企画開発生産から販売まで一貫した事業戦略の遂行に努めました。グローバルレベルで统一的に企画開発を行ったランニングウェアのグローバルコンセプトシリーズの発売などを行いました。

これらの企業活動が評価され、インターブランド社の「Japan's Best Global Brands 2015」において、当社は、過去最高のブランド評価額にて19位に選ばれました。また、従業員などの健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践している企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」にも選ばれました。

加えて、多様な人材が最大限能力を発揮できる企業文化・環境の中でイキイキと働き、持続的な会社の成長に貢献することを目的として、「'One Team' 違いを活かす、高め合う。」をスローガンにダイバーシティを引き続き推進しました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は117,445百万円となりました。このうち国内売上高は32,023百万円、海外売上高は85,421百万円となりました。売上総利益は52,628百万円、営業利益は15,387百万円、経常利益は12,162百万円、四半期純利益は8,515百万円となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日であった連結子会社は3ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期間比につきましては記載しておりません。

#### ① 日本地域

日本地域におきましては、売上高は37,972百万円となり、セグメント利益につきましては2,452百万円となりました。

#### ② 米州地域

米州地域におきましては、売上高は34,291百万円となり、セグメント利益につきましては2,968百万円となりました。

#### ③ 欧州地域

欧州地域におきましては、売上高は31,628百万円となり、セグメント利益につきましては4,213百万円となりました。

#### ④ オセアニア/東南・南アジア地域

オセアニア/東南・南アジア地域におきましては、売上高は6,288百万円となり、セグメント利益につきましては1,242百万円となりました。

#### ⑤ 東アジア地域

東アジア地域におきましては、売上高は9,969百万円となり、セグメント利益につきましては1,493百万円となりました。

⑥ その他事業

その他事業におきましては、売上高は3,364百万円となり、セグメント利益につきましては131百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産360,855百万円(前連結会計年度末比1.4%増)、負債の部合計153,162百万円(前連結会計年度末比0.5%減)、純資産の部合計207,693百万円(前連結会計年度末比2.8%増)でした。

流動資産は、現金及び預金、たな卸資産の減少、売上債権および短期デリバティブ資産の増加によるその他の資産の増加などにより、267,140百万円(前連結会計年度末比0.8%増)となりました。

固定資産は、のれんおよびブランドなどの無形固定資産の減少、長期デリバティブ資産の増加による投資その他の資産の増加などにより、93,715百万円(前連結会計年度末比3.1%増)となりました。

流動負債は、短期借入金の減少、主として償還期限が1年以内となった社債の固定負債から流動負債への振り替えによるその他の負債の増加などにより、86,457百万円(前連結会計年度末比11.8%増)となりました。

固定負債は、上述の振り替えによる社債の減少などにより、66,705百万円(前連結会計年度末比12.9%減)となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、172,507百万円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。

その他の包括利益累計額は、為替換算調整勘定の減少があったものの、繰延ヘッジ損益などが増加したことにより、33,706百万円(前連結会計年度末比3.5%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,887	41,307
受取手形及び売掛金	80,991	98,147
有価証券	2,821	4,855
商品及び製品	99,180	92,367
仕掛品	345	351
原材料及び貯蔵品	886	900
繰延税金資産	5,519	6,253
その他	24,235	26,857
貸倒引当金	△3,898	△3,900
流動資産合計	264,969	267,140
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,045	36,564
減価償却累計額	△19,372	△19,601
建物及び構築物 (純額)	16,672	16,962
機械装置及び運搬具	5,048	5,002
減価償却累計額	△3,946	△3,898
機械装置及び運搬具 (純額)	1,101	1,104
工具、器具及び備品	21,680	21,097
減価償却累計額	△12,985	△13,068
工具、器具及び備品 (純額)	8,694	8,029
土地	9,466	9,432
リース資産	7,240	7,273
減価償却累計額	△2,801	△2,910
リース資産 (純額)	4,438	4,363
建設仮勘定	1,734	2,205
有形固定資産合計	42,109	42,098
無形固定資産		
のれん	5,165	4,610
その他	14,424	13,356
無形固定資産合計	19,590	17,966
投資その他の資産		
投資有価証券	10,534	11,632
長期貸付金	411	389
退職給付に係る資産	522	511
繰延税金資産	995	584
その他	17,073	20,983
貸倒引当金	△369	△450
投資その他の資産合計	29,168	33,650
固定資産合計	90,868	93,715
資産合計	355,837	360,855

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,263	26,129
短期借入金	15,414	10,916
リース債務	617	612
未払費用	15,842	14,949
未払法人税等	1,915	3,224
未払消費税等	2,013	3,199
繰延税金負債	2,176	3,537
返品調整引当金	594	914
賞与引当金	843	1,315
資産除去債務	7	5
その他	10,660	21,651
流動負債合計	77,348	86,457
固定負債		
社債	16,000	5,000
新株予約権付社債	30,125	30,117
長期借入金	8,590	8,523
リース債務	4,256	4,166
繰延税金負債	6,074	7,022
退職給付に係る負債	8,241	8,094
資産除去債務	852	943
その他	2,408	2,837
固定負債合計	76,547	66,705
負債合計	153,896	153,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,490	17,490
利益剰余金	134,640	138,704
自己株式	△7,658	△7,660
株主資本合計	168,444	172,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	3,990
繰延ヘッジ損益	14,645	23,152
在外子会社資産再評価差額金	129	120
為替換算調整勘定	14,547	6,323
退職給付に係る調整累計額	73	120
その他の包括利益累計額合計	32,564	33,706
新株予約権	35	44
少数株主持分	896	1,434
純資産合計	201,940	207,693
負債純資産合計	355,837	360,855

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
売上高	161,613	117,445
売上原価	88,576	64,509
返品調整引当金戻入額	627	315
返品調整引当金繰入額	425	623
売上総利益	73,238	52,628
販売費及び一般管理費	53,115	37,241
営業利益	20,123	15,387
営業外収益		
受取利息	196	119
受取配当金	105	15
為替差益	413	—
その他	164	135
営業外収益合計	880	270
営業外費用		
支払利息	284	232
為替差損	—	2,593
その他	69	668
営業外費用合計	353	3,495
経常利益	20,649	12,162
特別利益		
固定資産売却益	16	4
特別利益合計	16	4
特別損失		
固定資産売却損	19	12
固定資産除却損	16	1
特別損失合計	35	13
税金等調整前四半期純利益	20,631	12,153
法人税等	6,065	3,616
少数株主損益調整前四半期純利益	14,565	8,537
少数株主利益	133	21
四半期純利益	14,432	8,515



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,565	8,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344	822
繰延ヘッジ損益	626	8,506
在外子会社資産再評価差額金	△46	△9
為替換算調整勘定	△4,176	△8,230
退職給付に係る調整額	44	46
その他の包括利益合計	△3,207	1,134
四半期包括利益	11,358	9,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,234	9,657
少数株主に係る四半期包括利益	123	14

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY. LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア/東南・南アジア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、平成27年1月1日付でアシックスインディアPRIVATE LIMITEDはマーケティング会社から販売会社へ事業形態を変更いたしました。これに伴い、従来調整額に含まれていたアシックスインディアPRIVATE LIMITEDの業績を「オセアニア/東南・南アジア地域」に移行させております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記事業形態変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジ ア地域	東アジア 地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	22,674	57,523	52,364	8,800	15,185	4,942	161,490	122	161,613
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,549	0	—	42	—	—	4,592	(4,592)	—
計	27,223	57,524	52,364	8,843	15,185	4,942	166,083	(4,470)	161,613
セグメント利益 又は損失	387	6,349	5,230	1,661	1,512	(632)	14,508	5,614	20,123

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジ ア地域	東アジア 地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	31,877	34,291	31,625	6,280	9,947	3,362	117,385	60	117,445
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,094	0	3	7	22	1	6,129	(6,129)	-
計	37,972	34,291	31,628	6,288	9,969	3,364	123,514	(6,069)	117,445
セグメント利益 又は損失	2,452	2,968	4,213	1,242	1,493	131	12,502	2,885	15,387

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

重要な事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

重要な事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)		増減 (△は減)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
スポーツシューズ類	国内	14,071	8.7	19,679	16.8	—	—
	海外	119,241	73.8	73,096	62.2	—	—
	計	133,313	82.5	92,776	79.0	—	—
スポーツウェア類	国内	5,687	3.5	8,324	7.1	—	—
	海外	15,619	9.7	9,942	8.5	—	—
	計	21,306	13.2	18,267	15.6	—	—
スポーツ用具類	国内	3,178	2.0	4,019	3.4	—	—
	海外	3,814	2.3	2,382	2.0	—	—
	計	6,993	4.3	6,401	5.4	—	—
合計	国内	22,937	14.2	32,023	27.3	—	—
	海外	138,675	85.8	85,421	72.7	—	—
	計	161,613	100	117,445	100	—	—

- (注) 1. スポーツシューズ類 : ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等  
 スポーツウェア類 : トレーニングウェア、アスレチックウェア、スクールスポーツウェア、ベースボールウェア、スイムウェア、スポーツスタイルウェア、アウトドアウェア等  
 スポーツ用具類 : ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は3ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、前年同期間比につきましては記載しておりません。

(2) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位: 百万円)

日本	米州	欧州	その他	計
22,937	57,526	54,884	26,264	161,613

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

(単位: 百万円)

日本	米州	欧州	その他	計
32,023	34,321	33,289	17,810	117,445

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成26年12月期第1四半期 (円)	102.66	140.56	93.71	0.0981	15.63
平成27年12月期第1四半期 (円)	119.58	136.13	93.87	0.1087	14.48
増減 (円)	+16.92	△4.43	+0.16	+0.0106	△1.15
増減比 (%)	+16.5	△3.2	+0.2	+10.8	△7.4

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジア 地域	東アジア 地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益率 (%)		6.5	8.7	13.3	19.8	15.0	3.9

(注) 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第1四半期連結累計期間につきましては、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は3ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)、決算日が12月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、セグメントの売上高増減比およびセグメント利益増減比につきましては記載しておりません。